

# 平成25年度 循環型社会に貢献できる産業人材育成事業に関するアンケート結果

宮城県古川工業高等学校 建築科

## ■調査概要

対象：建築科3年生40名（男子20名・女子20名）

調査日：平成26年2月10日（月）質問用紙による選択および自由記述回答

## ■学習の理解・定着について

【数字は%】

		はい	いいえ
1	産業廃棄物の3R、発生抑制・再使用・再生利用（リデュース・リユース・リサイクル）について理解できた。	100.0	0.0
2	解体された木材（廃材）を活用して、次の木工製品を作り出す工程が理解できた。	100.0	0.0
3	建築科の学習を通し、ものづくりの楽しさを学ぶことができた。	97.5	2.5

## ■持続可能な循環型社会を築くため、また将来世代に豊かな環境を残していくために、あなたが実践している行動について

		はい	いいえ
4	買い物に行くときは、マイバックを持参し、不要なレジ袋をもらわないようにしている。	70.0	30.0
5	照明、テレビ、パソコンなどの使用していない機器の電源をこまめに切るようにしている。	80.0	20.0
6	冷暖房を控え、衣服で調節し、冷暖房器具の使用時間を短くしています。（冷房の設定温度は28℃、暖房の設定温度は20℃）	55.0	45.0
7	水道やシャワーの蛇口をこまめに止め、節水している。	87.5	12.5
8	電気製品や家具は、壊れても修理して使えないかを、まず考えて安易に買い替えをしない。	82.5	17.5
9	ゴミは種類ごとにきちんと分別し、市町村のリサイクルに協力している。	90.0	10.0
10	家族や友人と、学校や地域でできる環境保全の実践活動について、考えている。	52.5	47.5

## ■本事業における感想（自由記述）

- ・リサイクルセンターを見学し、改めて資源ごみのリサイクルについて考え直すことができた。（女子）
- ・普通高校では体験できないことを体験することができた。毎回、内容が濃くて勉強になった。（女子）
- ・今、自分たちが暮らしている地球の環境について、現状や対策を知ることができて良かった。（女子）
- ・建築科での学習は、住宅のことしか学習しないと思っていたけど、環境のこといっぱい勉強して、環境を良くするよう心がけるようになった。（男子）
- ・建築を学んで、自分の将来がどういったものなのか改めて確かめ直すことができた。（男子）
- ・今回の学習を通し、材料などを無駄にしないよう心がけるようになった。（男子）
- ・教科書を見ただけでは解らないことも、実際に現場を見学させていただき凄く良かったし参考になった。（女子）
- ・今のリサイクルは、分別しやすくように釘などをあまり使わずに工夫していると聞いた時に、私にもできることが沢山あると思った。（女子）
- ・3年間を通して、貴重な体験ができた。社会に出ても活かしていきたい。そして、後輩にもこういった体験をしてもらいたい。（男子）
- ・3年間建築について学び、ものづくりだけではなく、環境のことなどさまざま学べて良かった。以前よりも様々なことに興味を持てるようになった。（女子）